

記入例

例示部分

審査請求書の一般的記載事項については、行政不服審査法第19条に規定

審査請求書

〇〇年〇月〇日

(審査庁) 行田市長

審査請求人

住所 A県B市C町〇〇番地

氏名 〇〇 〇〇

連絡先 ×××-××××

法人等、代理人による審査請求の場合などは、それに応じて記載

次のとおり審査請求をします。

1 審査請求に係る処分の内容

(処分庁) の〇〇年〇月〇日付けの審査請求人に対する〇〇に関する処分

2 審査請求に係る処分があったことを知った年月日

〇〇年〇月〇日

処分の一部の取消しを求める場合には、「1記載の処分のうち〇〇に関する部分」のように記入

3 審査請求の趣旨

「1記載の処分を取り消す」との裁決を求める。

4 審査請求の理由

(1) (処分に至る経緯を記載の上) (処分庁) から1に記載する処分を受けた。

(2) (処分庁) は、その理由を・・・のためとしている。

(3) しかしながら、本件処分は、・・・であるから、〇〇法第〇条の規定に違反しており、違法である。

(4) 本件処分により、審査請求人は、・・・(法的権利又は利益)を侵害されている。

(5) 以上の点から、本件処分の取り消しを求めるため、本審査請求を提起した。

「別添のとおり」とし、理由を記載した書面を添付する方法でもよい(添付書類欄に記載が必要)

5 処分庁の教示の有無及びその内容

「この処分について不服がある場合は、この処分があったことを知った日の翌日から起算して3月以内に、行田市長に対して審査請求をすることができます。」との教示があった。

【添付書類の例】

法人等の代表者等の資格を証明する書類、委任状

【証拠書類等の例】

審査請求に係る処分の通知書の写し

6 その他として、次の書類を提出します

(1) 添付書類 〇〇 1通

(2) 証拠書類等 〇〇 1通

【審査請求書の提出通数】(行政不服審査法施行令第4条第1項)

正副2通(正本をコピーし、押印したものを副本にしても可)

※審査庁と処分庁がともに行田市長である場合は、正本1通